

## 岩岡町のカーネーション



神戸市花き協会 常任理事 安福 雅信さん

5月の「母の日」を前に、ここ岩岡町でもカーネーションの収穫が最盛期。県内でも西区はカーネーションの産地として知られており、年間約60万本のカーネーションが出荷されています。

### 県下有数のカーネーションの産地

西区では、昭和28年頃からカーネーションの温室栽培が行われています。6月下旬頃～7月に苗を定植し、花の色づきや成長を見計らい収穫。9月下旬頃から翌6月中旬頃まで市場へ出荷、販売されます。



母の日に

1輪咲き栽培の淡路島に対し、西区では多輪咲きのスプレータイプのカーネーションの栽培が中心。花の種類は多く、安福さんのところでは、色とりどりの花、常時約17種類を栽培しています。なかでも花びらの縁にギザギザした切れ込みが入る剣弁咲きの花が、代表的な花形だとか。そのうち3分の1は、色合いなど、流行の花種を取り入れているそうです。

「最近では、母の日に贈る赤いカーネーションだけではなく、ピンクなどの淡い色合いの花も人気です」と、教えてもらいました。

「温室内の温度管理や害虫駆除はもちろん、最近では気温の変動、台風などの天災に苦労していますが、工夫をしながら大切に育てています」と、安福さんは語ります。花は、同じ土で何十年も栽培するそうですが、定植前には土壌消毒を行います。また、茎がまっすぐに伸びるよう、

### 可憐で美しい花を栽培

各農家ではビニールハウスで、温度管理や土づくりなど、さまざまな工夫をしながら栽培されています。

「温室内の温度管理や害虫駆除はもちろん、最近では気温の変動、台風などの天災に苦労していますが、工夫をしながら大切に育てています」と、安福さんは語ります。花は、同じ土で何十年も栽培する



フラワーネットでまっすぐな茎に



丁寧なピンチ作業で出荷の準備

う、基盤の目のように5段のネットを張り、成長過程で1段ずつ上げ

ていきます。

栽培時と出荷時には、伸張してきた芽や茎を折る、ピンチ（摘心）という作業も行われます。まっすぐに美しい花にするため、作業に余念がありません。

### 花を身近に感じて

岩岡町のカーネーションは、JA兵庫六甲農協市場館『六甲のめぐみ』や『JAピカリショップ』などにも並べられます。また、『フライングカーネーション』として、花の品質を保ちながら飛行機で北海道まで空輸もされています。



フライングカーネーション

「多くの方が花のある暮らしをして、心豊かになってほしい」と、願う安福さん。

ぜひ、花のある暮らしを楽しんでみませんか。



ビニールハウスの前で直売



JAの直売所に販売

## 豆知識あれこれ

### ステキに長く楽しむポイント



#### ①身近にあるもので花を飾ろう

使わなくなったコップや皿、空き瓶などを活用!茎の部分を切って、花だけを皿に浮かべさせ、食卓に。一輪だけを空き瓶に活けて、玄関に飾るなどの工夫を。花が目につく場所にあるだけで心が和みます。



身近にあるもので花を飾ってみませんか。

#### ②カーネーションだけでブーケを

赤、白、ピンク、グリーンなど、色とりどりのカーネーションだけでアレンジするブーケが流行っています。ぜひ、試してみませんか。



[提供: JA兵庫六甲]

## 神戸のお米『こうべ育ち』を5名様にプレゼント!

**応募方法** 住所・氏名・性別・年齢・電話番号、**質問** の答え及び感想を記入の上、はがきかFAX、電子メールで下記へ  
※平成31年5月7日(火)消印有効。抽選。

**質問** 母の日のお花にまつわる思い出は?

※応募は1人1通に限りです

※当選結果は発送をもってかえさせていただきます

※プレゼントは同等の品に変更することがあります

**応募先** 西区役所まちづくり課(〒651-2195住所不要)

FAX929-0030 ☑ nishi@office.city.kobe.lg.jp